

BOCK AUDIO スタジオイクイップメント



BOCK AUDIO の創設者でチーフエンジニアのデイビット・ボック氏はレコーディング・スタジオのテクニカルセクションのチーフとして80年代、90年代を

Ocean Way など著名なスタジオで過ごし、スタジオ機器のメンテナンスに携わってきている。

その経験を活かして、ビンテージマイクロフォンなど少量生産ではあるが、妥協しないマイクロフォンを完成させている。

エレクトリでは、BOCK AUDIO チューブタイプ 251 と 241 の2機種を発売している。

251 は、オリジナル 251 から50年以上を経過しているが、そのサウンドを求めるエンジニアが多いことも確かなのである。ボーカルでは男声、女声の音圧を気にしなかったり、楽器に使用する場合でも、ミックス中、EQ せずしにしっかりとしたニュアンスで収録できるという特長を持っている。

◆主な仕様

指向特性：単一、無指向、双指向切り替え
周波数特性：10Hz ~ 18kHz ± 2dB
感度：19mv / 等価雑音：18dB
歪率：112dB 0.5% / 推奨負荷：1.2k Ω
カプセル：1 インチ 非対象
D レンジ：94dB

インピーダンス：200 Ω トランスバランス
重量：716g / 寸法：52mm 径 216mm
電源：100V

241 は、ボーカル向けに単一指向になっている。ユニークな部分はキャラクターが選択できる2段のスイッチを持っているので様々なシチュエーションに対応し幅広い収録ができる。

◆主な仕様

周波数特性：30Hz ~ 18kHz ± 2dB
感度：19mv / 歪率 112dB 0.5%
インピーダンス：200 Ω トランスバランス
推奨負荷：1.2k Ω
寸法：52mm 径 216mm
重量：694g / 電源：100V

RCF アクティブ 3WAY ラインアレイモジュール

設備用音響機器で、特にウーファー、ミッドレンジユニット、コンプレッションドライバなどトランスデューサーの設計、生産で知られる RCF は 1949 年、イタリア北部のエレクトロニクス産業の街、レッジョ・エミリアで誕生している。トランスデューサーメーカーとして世界的に知られている。また、1996 年に発表のプラスチック PA スピーカ ART シリーズはポータブル PA マーケットを確立し、野外フェスティバル、コンサート、劇場、クラブなどに浸透しオペレータ、ミュージシャンなどに支持されているものなど製品群は幅広い。1995 年、品質マネジメント国際規格 ISO の認証も獲得している。広大な敷地内には研究開発部門からユニット工場、アンプなどのパーツ工場から、木工工場までの総合工場になっている。

写真は、アクティブ 3WAY ラインアレイモジュール TTL33-All とアクティブハイパワー・サブウーファ TTS36-A が2台入る。



TTL33-All 小型ラインアレイでは 3WAY のため、広帯域再生と高ダイナミックレンジを可能としており、アウトドアの SR、ライブ、ツアーのツールとして使われている。

主な仕様は、750w のスイッチングアンプ、6X ハイパワー・ネオジウムトランスデューサー、アナログインプットボード、96kHz、32 ビット DSP、ソフトリミット RMS プロテクション、RD ネット搭載、周波数特性：60Hz ~ 20kHz、最大音圧レベル：135dB、水平指向角：100 度、垂直指向角：15 度、コンプレッションドライバ：3x1.0 ネオジウム 37mm ボイスコイル、ミッドレンジ：8 インチネオジウム、64mm ボイスコイル、ウーファー：2x8 インチ・ネオジウム 64mm ボイスコイル、クロスオーバー周波数：400Hz/1800Hz、入力感度：- 21 + 4dBu、寸法 mm：H300xw760xD450、重量：32,5kg。

サブウーファー TTS36-A の周波数特性：35Hz ~ 120Hz、最大音圧レベル：143dB、アンプ：2x2000w RMS、コントロール：DSP、寸法 mm：H525xw1170xD850、重量：95kg



Peluso Microphone Lab

妥協を許さない極上のビンテージサウンド



ペルーソマイクロフォンは最高品質のコンポーネントを世界の国々から調達し、妥協の無い徹底した品質管理の下でひとつひとつを丹念に作り上げた至高のブランドです。細部にわたり、作り手の魂を感じることができる逸品です。

株式会社 **エレクトリ**

<http://www.electori.co.jp/peluso/>

〒171-0043 東京都豊島区要町 2-19-6 TEL. 03-3530-6181/6103 FAX. 03-3974-2448
価格、仕様及びデザインは予告なく変更することがあります。

Inter BEE 2014
International Broadcast Equipment Exhibition

ブース番号 1002